

## 垂水駅周辺エリアにおける公共・公益施設の再配置（案）

### 1. 現状と課題

- 垂水駅周辺エリアは、駅を中心に区役所をはじめとする様々な施設（文化施設〔レバンテホール〕、商業施設、図書館）が集積するとともに、三宮までJRで18分と交通利便性が良く、まちのポテンシャルが高いエリアであると考えています。
- 人口当たりの病床数が最少区であり、産科・小児科病床を持つ病院もなく、特に南部においては中核的医療機関がありません。
- 垂水小学校は今後の新規住宅供給により、児童数が増加し、教室数の不足が見込まれます。
- 垂水駅周辺では垂水体育館をはじめとする公共施設の老朽化が進んでいるなど様々な課題があると考えています。

### 2. 今後のまちづくりの考え方（公共・公益施設の再配置（案））

- 垂水駅周辺エリアのポテンシャルを引き出すためには、公共・公益機能を充実させていくことが重要と考えています。
- 下図のとおり、新体育館や中核的な医療施設の整備など、垂水駅周辺エリアの公共・公益施設の再配置を行います。
- 加えて、子育て環境の充実を図り、地域特性と既存インフラを活用したまちづくりを進めることで、住んでいただくと同時に交流人口も増やしていく取り組みを進めてまいります。



### 3. 各施設について

#### (1) 新体育館

- 老朽化が進む垂水体育館を垂水勤労市民センターの体育室と集約のうえ、平磯にある垂水スポーツガーデンの一部に移転新設します。
- 現状よりも大きな延べ床面積を確保することができ、これまでできなかった競技にも幅広く対応できるようになります。
- 空調設備の設置など、これまで以上に快適性、利便性の向上を図ります。

#### (2) 中核的医療施設

- 垂水区内には産科・小児科病床を持つ病院がないことから、垂水体育館・垂水養護学校跡地に産科・小児救急を含む急性期医療を担う中核的な医療施設を配置することで医療体制の充実を図ります。
- 中核的医療施設の機能は、垂水区南部の保健医療の中心となり、地域医療の中核を担えるような、産科・小児救急を含めた救急医療の機能を持つことや、概ね200床以上の総合病院であることを想定しています。

#### (3) 垂水小学校

- 垂水小学校の校舎等の建て替えを行い、必要な教室数を確保するとともに、校内のバリアフリー化、狭い講堂を体育館へ整備することや、校舎・プール等の集約化により運動場を拡張することなどで、教育環境の改善を図っていきます。

#### (4) 地域の子育て支援拠点

- 垂水区は、就学前児童数等が市内で一番多く、区内一円から利用できる地域の子育て支援拠点の整備を望む声が非常に大きくなっています。
- 駅前立地の好条件である垂水勤労市民センターの体育室跡には、子育て環境の充実を図るための地域の子育て支援拠点を整備していきます。

#### ●問い合わせ先

再配置全体に関する事	企画調整局調整課 垂水区まちづくり課	TEL : 322-6967 TEL : 708-5151
新体育館に関する事	教育委員会事務局スポーツ体育課	TEL : 322-5803
中核的医療施設に関する事	保健福祉局地域医療課	TEL : 322-5246
垂水小学校に関する事	教育委員会事務局学校環境整備課	TEL : 322-5829
地域の子育て支援拠点に関する事	こども家庭局こども青少年課	TEL : 322-5210